

質問；ソフトボールではスターティングプレイヤーは、一旦試合から退いても、もう一度出ることができるというルールがあるようですが、詳しく教えてください。

回答；このルールもソフトボールの特徴の一つですね。ルールでは「スターティングプレイヤーは、いったん試合から退いても、いつでも一度に限り『再出場』できる。」となっています。注意しなければならないのは、「自己の元の打順を受け継いだプレイヤーと、交代しなければならない」ということです。当然と言えば当然ですが、そのようにしなければ打順が変わってしまいます。

例えば、

スターティングプレイヤーの六番・三塁手のA選手が控えのB選手と交代したとします。その後、八番・二塁手C選手に代わりA選手が再出場しました。A選手は正しい再出場でしょうか。答えは「再出場違反」ですね。A選手の打順が六番から八番に変わっています。このような交代は出来ず、A選手は六番のB選手とだけ交代して再出場できることとなります。

よくあるケースは、六番のA選手の代打としてB選手を出し、チームの攻撃完了後、A選手をB選手に代え再出場させるというものです。監督が「Aをリエントリーします。」と言っているのはそのことです。A選手は交代したB選手と交代していますから何ら問題はないですね。

再出場違反は違反選手と監督が退場になります。(但し、高校生以下の大会の場合は、違反者のみが退場となります。) 厳しいペナルティです。プレイに関するペナルティについて平成25年までは「それまでのプレイは、すべて有効」となっていますが、平成26年から次のように改正されました。

なお、再出場違反はアピールプレイです。アピールがあるまで審判員は判定しません。アピール権は、違反再出場した選手が出場している間消滅しません。

1. 守備中にプレイに関与して発見された場合
 - 1) 次の投球動作に入る前は、攻撃側の監督にプレイの結果を生かすか、打ち直し(打撃完了前のボールカウントで)をするかの選択権が与えられる。
 - 2) 次の投球動作に入ったのちは、プレイはすべて有効である。
2. 攻撃中に発見された場合
 - 1) 打撃完了前に発見された場合は、正しい交代者がそのボールカウントを引き継ぎ、それまでのプレイは有効である。

2) 打撃完了後、次の投球動作に入る前は、打撃によるすべてのプレイは無効で、違反者はアウトになる。ただし、違反発見前のアウトは取り消さない。

※説明…打撃には四球、死球も含まれます。

3) 打撃完了後、次の投球動作に入ったのちは、それまでのプレイはすべて有効である。

※このルール改正は、日本ソフトボール協会の提案により、国際ソフトボール連盟で承認されたものです。

※「退場」の宣告を受けた監督等役員、選手は、当該試合は勿論、球場からも退去しなければなりません。